

平成15年12月
農林水産省

WTO一般理事会の概要

日時：平成15年12月15日（月）及び16日（火）

場所：ジュネーブWTO本部

出席者：大島大使、経済産業省佐野経済産業審議官、農水省小西国際部長、経済産業省田中通商機構部長、外務省佐藤国際機関第一課長、財務省小口参事官他

- 1 「カンクン閣僚会議のフォローアップ」に関する議題について、カンクン以降重点的に進めてきた4分野（農業、非農産品アクセス、綿花及びシンガポール・イシュー）の交渉状況についてカスティージョ議長が報告した後、今後のプロセスの進め方として、
農業及び非農産品アクセス交渉については、デルベス議長案を出発点として引き続き枠組み合意を目指すこと
来年、新たな交渉グループ議長を選任（2月予定）した後に、早期に、全ての交渉グループを再開して議論を行うこと
等を提案した。
- 2 また、カスティージョ議長は、現状の評価について、「カンクン以降、交渉の前進はあったが、未だ軌道に戻るまでには至っておらず、来年早期に交渉を前進させられるよう更に大幅な努力が必要」と述べた。
- 3 その後、各国の意見表明が行われ、大勢が、農業及び非農産品アクセス交渉について引き続き枠組み合意を目指すこと及び全ての交渉グループ等を再開することなど、議長が提案したプロセス全般を支持する流れとなった。

（問合せ先）

大臣官房国際部国際経済課 遠藤

03-3502-8111（代表）6651、03-3502-0897（直通）